



食材購入と原発事故

東日本大震災に伴う福島原子力発電所の事故で、日本国中大騒ぎになっており、終息の目途が立たない中、関係者の懸命の努力が続いています。特に、現場で日夜見えない敵と格闘する作業員さんたちの放射線被ばくが少ないことを願わずにはられません。

さて、そんな中、特に野菜などの給食食材について、放射線の影響を心配する保護者たちのことがマスコミで報道されています。そこで、この問題について、少し考えてみたいと思います。

これは特に、成長期の子どもたちの給食ということもあり、たいへんデリケートな問題でもあります。私たちの基本的な考え方は、国が定めた「暫定規制値」を超えた食材は、食品衛生法で食用に供してはならないと規制されています。したがって、市場に出回っている野菜等は安全なもので、学校給食の食材として扱っても問題ないものと考えています。

そして、野菜等の放射線量の測定については、国の指導支援のもと、各県で行っており、群馬県でも週に1回程度、県内各地で行っています。そして、その結果は県のホームページでも確認することができます。今大切なのは、いたずらに怖がらず、冷静に対応すること。風評被害の発生も抑えることができるのではないのでしょうか。(は)

ご不明な点は、学校給食センター(62-1504)へご連絡ください。



あともう少しで待ちに待った夏休みになります。夏休みになると、食生活が不規則になりやすくなります。楽しい夏休みを過ごすためにも、次のことに注意してみてください。



夏休みの食事のポイント8カ条

<p>な んでも食べて夏バテ知らず</p> <p>バランスのよい食事は、夏バテ予防になります。</p>	<p>つ めたいものはほどほどに</p> <p>冷たいものをとりすぎると、おなかをこわします。</p>	<p>や たらとおやつは食べないで</p> <p>おやつの食べすぎは、食事に影響します。</p>	<p>す ききらいを克服しよう</p> <p>好き嫌いのある子は、夏休みに一つでも減らすようにしましょう。</p>
<p>み どの仲間をタップリと</p> <p>不足しがちな緑の仲間の野菜をタップリとろう。</p>	<p>の むなら牛乳 1日2本</p> <p>家族みんなで牛乳を飲みましょう。</p>	<p>しよく よくモリモリ 元気な子</p> <p>元気に運動して、しっかり食べましょう。</p>	<p>じ かんをきめて 1日3食</p> <p>夏休みになると1日の食生活が乱れがちです。朝・昼・夕の食事は時間を決めてとりましょう。</p>



クイズの答えは でした。ドイツのハンブルグというところで誕生した料理だそうです。